

令和6年度 実践的放射線治療人材育成セミナー 第12回広島-神戸医学物理研究交流会を開催しました！

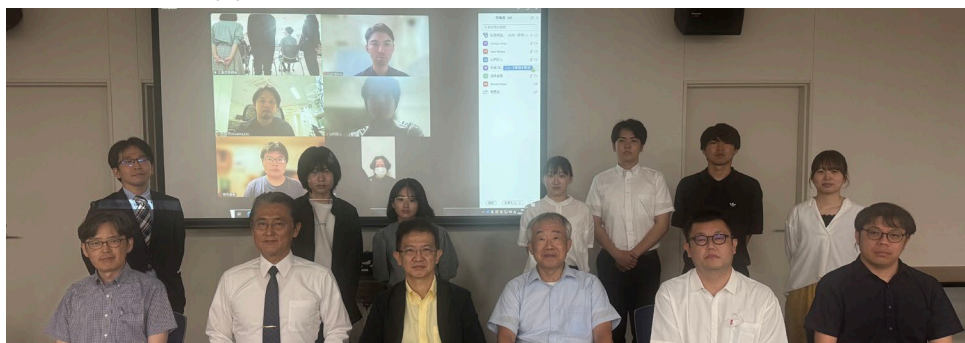
令和6年8月9日（金）に第12回広島-神戸医学物理研究交流会を開催いたしました。

今回は、HIPRACでの現地参加とZoom併用のハイブリッド開催となりました。HIPRAC・広島大学・神戸大学・神戸低侵襲がん医療センターなどから、医学物理士だけではなく医師・技師・大学院生など、現地15名、Zoom9名の合計24名にご参加いただきました。

HIPRAC影本センター長の開会挨拶に始まり、最新の医学物理の研究テーマや共同研究、AIの共同研究、技術支援活動進捗に関する活発な議論が行われ、最後は神戸大学佐々木教授の挨拶で閉会となりました。

この研究会は年2回開催されており、次回は2025年冬に神戸での開催を予定しております。

時間	内容	所属・氏名
19:00~19:04	開会の挨拶	HIPRAC 影本 正之
19:04~20:16	研究発表（プレゼン9分+質疑3分） 座長：小澤 修一	
	CNN+Transformerハイブリッド画像生成モデルの開発 および病変セグメンテーションによる生成画像評価	広島大学 廣瀬 幸太
	臨床を見据えた膵臓がん同所性移植モデルの利用の有用性	神戸大学 清水 康之
	神経膠芽腫に対する解釈可能なラジオミクス解析	広島大学 角岡 柚花
	肺癌SBRTに対する治療計画の質の最適化に関する研究	神戸大学 辰野 佑哉
	AI共同研究の進捗報告	広島大学 河原 大輔
	技術支援活動進捗報告	HIPRAC 小澤 修一
20:16~20:26	総合討論	
20:26~20:30	閉会の挨拶	神戸大学 佐々木 良平



広島県外の施設との交流も活発に行っています！



今回も、医学物理士の役割、最先端の研究や技術支援の今後に関する熱い議論が交わされ、素晴らしい交流になりました。

HIPRACでは引き続き、放射線治療に携わる医療人材の育成を継続していきます。今後も各種セミナーを企画・検討しておりますので、みなさまぜひ奮ってご参加下さい！

